

本試薬は研究用試薬であり、疾病の診断若しくはその補助の目的で使用することはできない。

## MPC-1 (R-Phycoerythrin 標識モノクローナル抗体)

容量：1mL (100テスト) /vial

MPC-1 は、河野道生教授（山口大学大学院医学研究科応用医工学系生体シグナル解析医学講座）により発明されたヒト成熟骨髄細胞を特異的に認識するモノクローナル抗体です。

本品は、ヒト骨髄腫細胞株 KMS-5 を感作抗原として作成したモノクローナル抗体に R-Phycoerythrin を標識したものです。

多発性骨髄腫（ミエローマ）は極めて悪性度の高い造血器腫瘍で、フローサイトメトリーによる解析で、CD38(+)、CD19(-)、CD56(+)がミエローマ細胞であり、かつ、MPC-1(-)細胞は更に未分化な悪性度の高いミエローマ細胞であることが明らかにされています。

MPC-1 を使用することにより、多発性骨髄腫（ミエローマ）の分化段階を認識することが可能になります。

**Isotype：**マウス IgG 2 a- $\kappa$

**由来：**ヒト骨髄腫細胞株 KMS-5 を感作抗原として作成したモノクローナル抗体です。

**反応性：**

ヒト成熟骨髄腫細胞に対し反応性を有し、前骨髄腫細胞とは反応しないことを特徴とします。

**使用方法：**

培養細胞を  $5 \times 10^6$  cells/mL に調整した細胞懸濁液を 100  $\mu$  L/tube ずつ任意の容器に分注し、本抗体を 10  $\mu$  L 添加し 4°C 暗所にて 30 分間反応させ測定します。

### 【使用上の注意】

1. 研究用目的以外には使用しないで下さい。
2. アジ化ナトリウム (NaN<sub>3</sub>) が含有されていますので誤って目や口に入ったり、皮膚に付着した場合には水で十分に洗い流す等の応急処置を行い、必要があれば医師の手当等を受けてください。

**【保存条件】** 冷暗所 (2~8°C)

### 【参考文献】

河野道生:総合臨床, 46(5): 562-571,1997

Kawano MM. et al.: Blood, 82: 564-570,1993

Huang N, Kawano MM. et al.: Blood. 82:3721-3729,1993

Kawano MM. et al.: Int J Hematol. 76 :329-33,2002

### 【問い合わせ先】

※ 大塚製薬株式会社 診断事業部 [TEL : 03-6717-1400](tel:03-6717-1400)

### 【製造発売元】

大塚製薬株式会社 東京都千代田区神田司町 2-9